

学校評価アンケート結果について

早春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、先般は保護者の皆様にはお忙しい中にもかかわらず学校評価に関するアンケートにご協力いただきありがとうございました。ここに保護者の皆様方にアンケートの集計結果の概要をお知らせしますとともに、教職員の自己評価につきましてもその概要をお知らせします。なお、明確になった教育課題につきましても、今後の教育活動に成果をあげられるよう、よりよい学校づくりにつなげていきたいと考えております。今後とも、ご協力・ご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

令和4年度 学校評価アンケート【保護者】 回答数 94

評価の高い項目

(そう思う、だいたいそう思うの項目が 90 %を超えている)

- 学校のホームページや学校だより、学級だよりなどで教育活動の目標やねらいが伝えられている。
- お子さんは、楽しく学校生活を送っている。
- お子さんは場に応じたあいさつや言葉づかいができています。
- お子さんは、学校で友達と仲良くすごしている。
- 学校は、子どもの人権を大切にし人権教育に積極的に取り組んでいる。
- 学校は、お子さんの能力や努力を適正・公平に評価してくれる。
- 学校は、体験したり、自分で考えたりする授業を行っている。
- 学校は、お子さんの体力向上に向けた取組を行っている。
- 学校は保護者の相談や学校への要望などに親身に対応してくれる。
- 学校は、授業参観や行事などへの参加を保護者に呼びかけ、開かれた学校づくりに努めている。
- 学校のホームページや学校・学級だよりなどで、児童の様子や学校の取り組みがよく伝えられている。
- 学校は、地域の人材や施設を活用して学習に取り組んでいる。
- 学校は地震・火災・台風・洪水・不審者などへの対応について、子どもへの指導や保護者への連絡ができています。

評価の低い項目

(あまり思わない、全く思わないの項目が 20 %を超えている)

- お子さんは、将来の夢や目標をもって努力(生活)している。
- お子さんは、読書の習慣が身についている。

アンケート結果の考察

【保護者】

「そう思う」「だいたいそう思う」をあわせると、いずれもが 90 %以上という数値が 13 項目でした。昨年度より 2 項目増えています。このことから多くの保護者は、学校生活において子どもたちは、楽しく有意義な学校生活を送っていると感じてくださっているようです。また、お便りやホームページ等による情報発信をしっかりと受けとめてくださり、小学校生活での教育成果を感じ取ってくださっているようです。

「あまり思わない」「全く思わない」のポイントが 20 %を超えた項目は上記の 2 項目です。昨年度より 3 項目減っています。しかし昨年に引き続き「読書の習慣」についてが 50 %を超える低い評価となっていることや、「将来の夢や目標をもって努力している」が 20 %を超える低い評価になっていることは、子どもたちの学びを確かなものにする観点からも、学習指導方法の改善充実を図る必要があると考えられます。

【児童】

保護者アンケートの結果と同じように「読書の習慣」が 30 %を超え昨年に続き低い評価となっています。読書習慣の定着は、学力の向上に大きく影響してきます。音読や週末読書、町立図書館からの図書貸出し等、今後も取り組みを継続していきますのでご協力をお願いいたします。

【教職員】

昨年に引き続き、「読書の習慣」「自分の考えや意見を伝える力」に課題を感じています。「文字に親しむこと」や「自分を大切にすること・他の人も大切にすること」は本校の教育課題の重要な柱であると改めてより強く全教職員で受けとめ、教育活動の改善をより強力に進めていきたいと考えています。

今後とも、保護者の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。